

三瓶ダム（静間川水系三瓶川）の洪水調節効果

7月17日から19日にかけて、梅雨前線が島根県付近で停滞した影響で、三瓶川上流域では降り始めからの総雨量が414mmに達し、18日21時から22時の間に42mmの激しい雨を観測しました。三瓶ダムでは、洪水調節により最大102m³/sの洪水に対し67m³/sの流量をカットし、ダムがない場合に比べ長久水位観測所において約41cm水位を下げ、下流の水位上昇を防ぎました。

